

令和 4 年度 第 41 期年間事業計画発表例会

5 月 27 日 於 クロスピア久御山 及び ZOOM

株式会社キョウシャ 原田 紘平

本年度最初の例会「第41期年間事業計画発表例会」を、ハイブリッド形式(リアル会場及びZOOM)にて開催し、総勢28名(リアル会場:24名、ZOOM:4名)の方にご参加いただきました。まず初めに第41期代表幹事を務めます山下正起より、ご挨拶申し上げ、年間テーマに掲げております『一意専心 ～念ずれば花開く～』の想いを胸に所信表明を語っていただきました。

第一部では、各委員会・部会よりそれぞれの委員長・部会長が『一意専心 ～念ずれば花開く～』の年間テーマのもと、活動テーマを考案し今期の年間事業計画を発表いたしました。

各委員長・部会長と年間テーマは次の通りです。

委員会・部会	委員長	活動テーマ
◆会社訪問研修委員会	坂下委員長 (株)サカテック	今こそ、その一步を ～理想の姿に近づくために
◆渉外委員会	荒木委員長 (有)荒木製作所	未来を見据えて種をまく
◆交流企画委員会	吉田委員長 吉田精機(株)	「笑顔の花を咲かせる」 ～明日への活力づくり～
◆板金部会	原田部会長 (株)キョウシャ	デザイン ～クリエイティブなものづくりを目指して～
◆切削部会	小島部会長 エースメタル(株)	好奇心
◆経営基盤強化研究部会 (K4)	有田部会長 (株)有田製作所	「今一度、経営基盤を見直す」

第二部では、『近況の社会情勢を含めた、業界の動向・予測等』と題して、中村顧問よりご講演賜りました。講演会においては、日本の中小製造業の今後の動向と、海外の動き、若者のマインド変化などのデータをもとに、様々な切口から「今後何が必要か？」多くのヒントをいただきました。会社規模・業界等の置かれている立場によって対応方法は異なってくるかと思いますが、各々が自社のあり方について考える、いい機会になったのではないかと思います。

例会終了前には、恩田先輩、山田真也先輩より、「事業をやり通す重要性」、「更に多くの事業に挑む姿勢」についてコメントをいただくなど、中村顧問をはじめ多くの方に叱咤激励の言葉を頂戴しました。また公益財団法人京都産業 21 の土江様、安富様にもご参加いただき、今後も機青連との強い連携をお約束いただきました。

今期は、先の 40 周年事業において発表させていただいた『機青連 OurVision』のもと、新体制でスタートする大切な一年になります。一つのことに集中し、機青連はもちろんの事、自社・地域経済全てにおいて結果を出し続けられるよう、幹事一同事業を進めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。